

千と千尋の神隠し

「千と千尋の神隠し」がヒットしたのはもう十年も前のこと、僕は十歳の頃に帰るためにこの映画を見に行きました。そうですよ。小さいころは夜が怖くて、もしかしたら目が覚めたら豚になっているかもしれないし、今日の次は明日なんだということが不思議なことだったんだ。この映画の中で「白」という少年が出てきて、主人公の女の子を助けます。この少年は白龍です。白龍は水の精。近くの神社の裏山には冷たい清水が湧いていて、そこには白龍様と看板があり、「白龍様はきれいな水が大好きですから、たっぷり水をかけてあげてください」。僕が水を掬ってかけてあげると、作り物の白龍様は、たちまち少年の姿になって、天に上っていきました。

